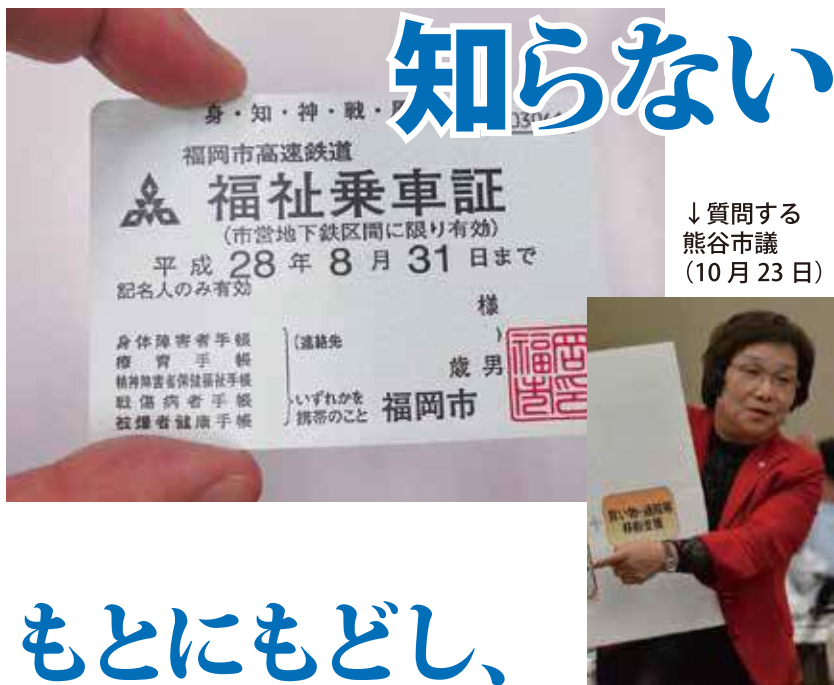


# 知らないうちに 切り捨て



もともにもどし、  
バスなどにも広げよ

## 日本共産党 福岡市議団が 議会で質問しました

日本共産党の熊谷敦子市議が10月の市議会（決算特別委員会総会）でとりあげました。  
市がこの切り捨てにあたって関係団体からまともな意見を聞いていないこと、さらに障がいをもつ人

福祉乗車証は障害者の地下鉄無料パス（回数制限なし）ですが、市はこれを廃止し、補助上限のある福祉乗車券への統合をきめました。

廃止までの3年間の経過措置の間についても、障害の程度の軽い人からとりあげたり、重度の人でも所得制限を持ちこんだり、約3000人への交付を切り捨てる大改悪を今年8月の交付分から強行しています。

たちに十分に知らせずにやったこと、苦情が区役所に殺到したにもかかわらず、窓口で市民の声を記録さえ残していないことがわかりました。

熊谷市議は、地下鉄無料パス制度を元にもどし、バスなどの他の交通手段にも広げるよう求めました。高島市長は「公平公正にするために制度を統合した」「持続可能な制度になるようにする」として開き直りました。

## 大もとに、市長の「福祉敵視」の計画

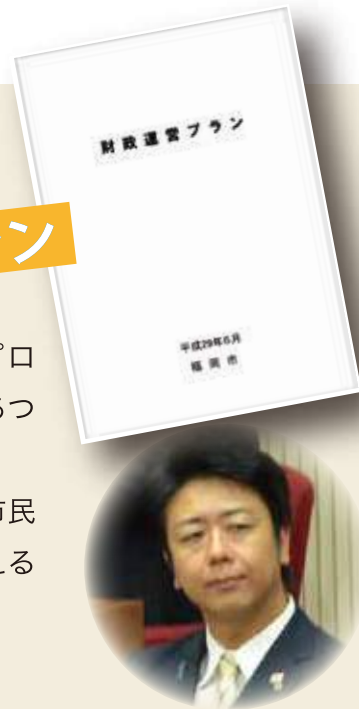
### 財政運営プラン

どうしてこんなひどい話が…？  
実は、大もとに市長の「福祉敵視」ともいべき計画（財政運営プラン）があります。  
この中では、「伸び続ける社会保障費」などとして、福祉予算を「やっかいもの」扱い。最近、高齢者乗車券のような「配る福祉」から、地域丸投げの「移動支援」

のように「支える福祉」へきりかえる、として、福祉の予算をできるだけおさえようとする動きを強めているのです。  
したがって、障害者や高齢者（1面参照）だけでなく全市民に攻撃がかけられています。  
プランでは人工島事業や都心の開発（天神ビッグバン・ウォーター

フロント）などムダな大型プロジェクトはまったく「聖域」あつかいになっています。

熊谷市議はプランをやめ、市民のくらしを守る政治にきりかえるように求めました。



## 核兵器禁止条約 市長はどう考えてるの？

人類史上はじめて核兵器を違法とする「核兵器禁止条約」ができました。日本共産党の綿貫英彦市議は、9月議会で高島市長はこの条約を支持するかと聞きました。市長は「理念には賛同する」と答えました。  
安倍政権はこの条約に入ろうとしませんが、「市長

から求めるべきだ」と迫ると「平和首長会議で要請している」として市長自ら求めようとはしませんでした。この他、綿貫市議は、核兵器廃絶を求める「ヒバクシャ国際署名」を市でもとりくむように提案しました。



9月議会で質問する綿貫市議（9月14日）

## 国に条約参加を求めよ 「ヒバクシャ署名」市も推進を



# 切り縮めていいのでしょうか？

福岡市の2017年9月議会・決算特別委員会（2016年度）での日本共産党の質問、活動についてお知らせします。

## 高齢者乗車券

福岡市議会（9月議会・決算議会）レポート

福岡市には「高齢者乗車券」という制度があります。

70歳以上の人地下鉄やバス、タクシーなどで出かけるさいの費用を補助するカードや券をだして、社会参加を応援しようというもの。年8000～1万2000円の補助です（所得制限があります）。

ところが、高島市長は「配る福祉から支える福祉へ」といって、これの見直しをすすめています。

まだ案がかたまっていないのですが、市の審議会にだされているイメージがあります（右図）。

### 町内会活動や健康づくりをする人だけに「ごほうび」？

日本共産党の熊谷敦子市議がこの問題を10月の決算議会でとりあげました。右図をみると、ももとの乗車券の補助金額をきりさげて渡し、町内会やボランティアなどの

地域活動をした人、健康づくりでがんばった人だけに「ごほうび」（インセンティブ）としてプラスする……そうしようとしているんじゃないですか？ それは地域に分断をもち込むのでは？ と質問しました。  
市は「まだ案が固まっていない」といって逃げようとした。

### ボランティアだけの移動支援でいいのか

市は「移動支援」もしますから」と言いわけしています。「地域でお年寄りが買い物に行くときなどに車をだして支援します」、「モデル事業も東区でやっています」、というのです。

ところが、市がバスを走らせるのかと思いきや、「車を貸すので、地域の人で運転して、事業をやりなさい」というもの。

### 市が審議会に出したイメージ図



モデル事業をやっている地域の人たちはやむにやまれぬ気持ちでとりくんでいますが、シロウトが運転し、シロウトが管理する「善意」に頼ったもの。

熊谷市議は「これでは地域丸投げ。高齢者の移動に市として責任をもつべきだ」ときびしくたたきました。

## きりすてをやめさせるため、力をあわせましょう



中山 倉元 星野 ひえじま 熊谷 綿貫 堀内  
いくみ 達朗 美恵子 俊和 敦子 英彦 徹夫  
団長（早良区） 幹事長（城南区） 市議（中央区） 市議（博多区） 市議（西区） 市議（東区） 市議（南区）

市民と共産党の共同で、これまでも国民健康保険料の引き下げや中3までの入院費無料化を実現し、市民はじめの「行革」による補助金カットなどを一部くいとめてきました。こんどもぜひ力をあわせやめさせましょう。

## 日本共産党 福岡市議団

# 「特区で特定企業のビジネスを応援」 福岡市でも次々と!?

福岡市の9月議会と10月の決算特別委員会がひらかれ、日本共産党は、高島市長が安倍政権と一体になってすすめている福岡市での国家戦略特区で、特定企業のビジネスやもうけを後押ししている実態について質問しました。

質問をきいた市民からは「まるで加計学園と安倍さんの話みたい」とおどろきの声があがってます。



9月議会で質問する中山市議（9月15日）

「まるで加計学園問題だ」の声も

# 「給料前借り」特区



決算特別委員会で質問する堀内市議（10月10日）

これも特定企業の応援。はたらくルールがこわされ貧困ビジネスが横行するのでは？

労働者が給料日前にスマートフォンアプリなどで決済して買い物をした場合、その分の給料は労働者には渡さず、買い物をした店の業者に渡す「給料前借り」特区を福岡市は国に提案しています。

労働基準法 24 条では、賃金は通貨で、労働者に直接労働者に払うというルールをさだめています。これは、立場の弱い労働者が、いろんな口実をもうけて、給料がピンハネされてきた歴史から設けられたルールです。

## 労基法破りを「推奨」

ところが高島市長は、こうした労基法の労働者保護規定を「時代に合わなくなった」と答弁し、市長が旗をふってルール破壊を進めている事実が浮かびあがりました。

日本共産党の堀内徹夫市議は10月の決算議会で質問。雇い主の系列の店で布団や日用品を労働者が買わざるを得ないようにして、給

料から差引くような貧困ビジネスが横行するのではないかとただしました。

総務企画局長は「本人同意」と「本人の自由な選択」があるので問題ないとする答弁をくり返しました。

しかし、堀内市議は、すでに「本人同意」の名目で過酷な労働をさせられていた外国人の例や、家賃・水光熱費・布団代・日用品などを不当に高く払わされていた派遣労働者のケースをあげて、「なんの歯止めにもならない」と厳しく批判しました。

また、堀内市議はこのアプリを開発する特定の企業に対する事実上の応援ではないのかと追及。はたらくルールの破壊が全国に広がるおそれのある「前借り」特区提案をとりさげよう求めました。

市長は「前借り」特区は「働き方の選択肢を増やす」と述べ、推進姿勢をあらわにしました。

## 空港アクセスバス 異例のスピード認定

特区を使った問題の事業は、4月から福岡空港—ホテル「ヒルトン福岡シーホーク」の間を走る「空港アクセスバス」です。

運賃や運行計画をかえるときの手続きをカンタンにする規制緩和によって、空港へのアクセスをよくします！と

いう宣伝文句です。

この事業は2月21日に国会議会で、「ロイヤルバス」という業者が認定されました。市が国に正式提案した1月27日からわずか1ヶ月にも満たない、異例のスピード認定でした。

## 大名小跡地の問題でも…

特区にかかわっては他にも、中央区の大名小学校跡地のまわりの地域について、航空法で65m以上の建物はたてられないのに、115mまでOKとする「例外」が認められました。

大名小の跡地は西鉄が隣接するグランドホテルの建て替え場所としてねらっています。

高さ規制がゆるめられ、巨大なホテルがたつかもしれません。

ここでも高島市長が特定企業のビジネスを応援しているのではないかと—中山市議は9月議会でもただしました。



空港アクセスバスのホームページより



航空法の規制緩和について国交省に調査する星野市議（11月20日）

## 事業者は市長の“おともだち”か？

日本共産党の中山いくみ市議は、この問題を9月議会で追及。この異例のスピード認定は、ロイヤルバスの代表者（戸島氏）が市長と「おともだち」だったからではないかとただしました。

高島市長は「お友達ではないが、知っている」と答弁しました。

## 空港からの大量輸送で大もうけ見込む

戸島氏は人工島でのビジネスを予定している会社に出資しており、人工島に大型ホテルをたてようとしています。

近くにある市の拠点体育館で、大きな国際大会でも開かれ、空港から人工島へのバス路線がつくられれば、大もうけが見込まれます。

その路線にどの企業が参入するか……注目されています。



9月議会で質問するひえじま市議（9月13日）

## 税金のむだづかいじゃないか

ひえじま市議は9月議会で人工島への高速道路をのぼす問題について質問しました。290億円もかけて数分しか時間は短くなりません。ひえじま市議は、むだづかいだと追及しました。

また、人工島の土地が売れないために、市は土地を安くしたうえで、10億円の「プレゼント」（土地交付金）までつけています。しかもそうやって呼びこんだ企業が雇っている人は半分以上が非正規です。市内の一般的な非正規の割合が3割台と比べるとあまりにも異常。「税金をつかって劣悪な雇用を広げるな。人工島の破たん救済に税金を使うな」と求めました。

## 9月議会で可決された意見書

- は共産党立案、○はその他の会派が立案
- 平成 29 年 7 月九州北部豪雨災害への支援強化を求める意見書案（全会一致）
- 安全・安心の医療提供体制の確保を図るため看護職員の勤務環境改善を求める意見書案（自民新が反対）
- 大規模災害対応法制の抜本的な見直しを求める意見書案（全会一致）
- 地方財政の充実・強化を求める意見書案（全会一致）
- 道路整備事業の補助率等のかさ上げ措置の継続を求める意見書案（共産、緑ネが反対）
- 小中学校におけるプログラミング教育の必修化に対する支援を求める意見書案（共産、緑ネが反対）

## 9月議会で否決された意見書

- 核兵器禁止条約の締結を求める意見書案（自民、公明、みらい、自民新が反対）
- いわゆる「共謀罪」を新設する「改正組織犯罪処罰法」の即時廃止を求める意見書案（自民、公明、みらい、維新、自民新が反対）

## 9月議会で新たに出された請願

件名	請願者
若者も高齢者も安心できる年金制度の実現を求める意見書議決について	全日本年金者組合福岡東支部
看護職員の勤務環境改善により、安全・安心の医療提供体制の確保を図ることを求める意見書議決について	ふやせ看護師！！福岡県ナースウエーブの会
公立夜間中学校の設置について	福岡市に公立夜間中学校をつくる会
長住中央公園の早期の整備とソフトボール専用球場の多目的広場としての存続について	長住ソフトボール同好会

## 9月議会の主な議案への賛否

主な議案 賛成=○ 反対=●	会派名						
	日本共産党	自由民主党	公明党	福岡市民クラブ	みらい福岡	福岡維新の会	自民党新福岡
一般会計補正予算	●	○	○	○	○	○	○
港湾会計補正予算	●	○	○	○	○	○	○

※日本共産党は9月議会で市長提案の18件の議案のうち13件に賛成、5件に反対（賛成率72%）。

## 9月議会・決算議会でのその他の日本共産党の質問

記事にしているもの以外で、日本共産党が本会議でとりあげた質問テーマは下記の通り。

- 児童養護施設の充実について
- 元寇防壁の保存・活用
- 介護保険制度の改善
- 第3給食センター問題
- 市営住宅管理のあり方
- 教員不足の解決
- こども病院の労働実態の改善
- 「障がい者スポーツセンター」の改善
- 障害者差別禁止条例など障害者施策の拡充



反対討論を行う倉元連朗市議（9月25日）